

主要事業 ① 水源の水質保全

次世代 つながる 環境

豊平川上流域における通常時の水質悪化の要因を取り除くとともに、事故・災害発生時においても良質な原水を確保することを目的として、豊平川水道水源水質保全事業を実施します。

この事業により、通常時にはヒ素やホウ素などを含む自然湧水や下水処理水を導水路を用いて白川浄水場の取水地点から下流にう回（バイパス）・放流し、河川水（原水）の中から抜本的に取り除くことで、より良質な水を浄水場で取水することが可能になります。

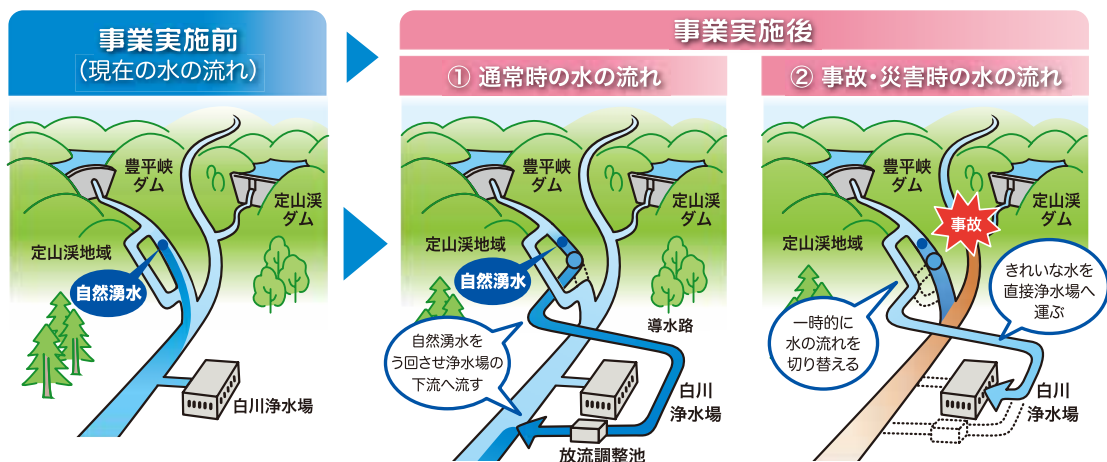
また、事故や災害時には一時的に水の流れを切り替え、導水路を利用してさらに上流の良質な河川水を浄水場まで運び、浄水処理することにより、断水することなく水道水を供給することができます。【総事業費約 290 億円（事業期間：平成 17(2005)～令和 8(2026) 年度）】



- ・より安全で良質な原水を確保することができます
- ・豊平川上流域の事故・災害時にも一定量の水道水が確保できます

取組	豊平川水道水源水質保全事業の実施									
	<ul style="list-style-type: none"> ● 取水堰（しゅすいげき）³⁵、導水路（延長約 10km）、放流調整池 ³⁶ 関連施設から構成されるバイパスシステムの整備を進めます。（令和 7(2025) 年度完了予定） 運用開始により、白川浄水場で取水する原水のヒ素濃度は現状より 1/10 以下に低減となる見込みです。 ● 事故・災害時のため、バイパスシステムと白川浄水場をつなぐ緊急導水管の整備を進めます。（令和 8(2026) 年度完了予定） 									
年次計画	実績					計画				
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
	取水堰の整備					導水路の整備				
						放流調整池関連施設の整備				
ビジョン後半5年間の予定事業費(2020～2024年度)					106 億円					

【図表26】豊平川水道水源水質保全事業



³⁵ 【取水堰（しゅすいげき）】 川の水をせきとめ、取るために設ける施設

³⁶ 【放流調整池】 う回（バイパス）した水の水圧・水質を調整し、放流するための施設